



～東京を浸水から守る下水道施設を巡る～

東京都下水道局の浸水対策施設を巡る見学会を実施します。
各国の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

◆見学施設

① 南砂雨水調整池

東京都下水道局の雨水調整池では、貯留量が最大の施設。
普段はなかなか入ることのできない調整池の内部に、皆様をお連れします。

② 両国ポンプ所

江東地区に降った雨を、東京を代表する河川である「隅田川」に放流する雨水ポンプ所。
当日は、雨水排除のための大型ポンプや操作室などを見学します。

※当日の天候等により、見学内容が変更になる場合があります。

南砂雨水調整池

- 貯留池容量 25,000m³
- 池の大きさ 奥行62m×幅46m×深さ9m
- 建設事業費 約100億円
- 供用開始年 平成18年4月



調整池の上部を
高層マンションとして利用



調整池内部



流入ゲート

両国ポンプ所

- 雨水ポンプ吐出量 330m³/分×2台、720m³/分×4台
- 排水面積 422ha
- 建設事業費 約290億円
- 供用開始年 平成14年4月



ポンプ本体内部の羽根車



操作室



吐出管

日時 2009年9月10日(木) 13:00 ~16:00

行程 13:00 東京大学出発 → 13:30 南砂雨水調整池
→ 15:00 両国ポンプ所 → 16:30 東京大学着
移動はすべて大型バスになります。



Bureau of Sewerage
Tokyo Metropolitan Government

